

データ統合・連携基盤及び人流データに関するに係る企画

提案書作成要領

1. 企画提案書の作成方法

- (1) 1者（共同企業体応募の場合は1共同企業体）につき1提案とする。
- (2) 用紙の大きさは、A4判とすること。（図表等は必要に応じ、A3版折込みも可。）
- (3) 文章を補完するための写真・イラストなどの使用は可とする。
- (4) 仕様書の記載内容に実現が困難な点やより効果的な手法等がある場合については、理由とともに、同等の機能を実現するための代替案、改善方法等を記載の上、企画提案書の内容に盛り込むこと。
- (5) 企画提案書は、分かりやすい内容とすること。
- (6) 積算根拠については、「〇〇一式」ではなく、作業ごとの役割・単価・工数が分かるように記載すること。

2. 企画提案者の記載内容

- (1) 本業務に対する提案者の認識
本業務に対する提案のコンセプトや注目すべきポイント、仕様書以外に含まれる独自の工夫等について記載すること。
- (2) データの統合・連携基盤について
 - ・クラウドサービスの特徴について、セキュアなデータ管理、ユーザーの権限に基づくアクセス制御にも言及しながら説明すること。
 - ・用意すべきI/Fについて、構築するアプリ開発ツール及びBIツール（Tableau Serverを前提とすること）の実行環境や、本基盤と自社開発環境との連携の観点から、類似のデータ活用事例も紹介しながら基盤の特徴を説明すること。
 - ・その他、構築した部分のサポートについて、想定する要員のスキルやサポート内容等、具体的に説明すること。
- (3) 人流データについて
 - ・メッシュデータの精度に関して、説明すること。
 - ・収集しているデータ量並びに範囲（国内、海外、その他区分）に関して説明すること。
 - ・住民と旅行客（通勤者）を区別する手法が確立の有無を説明すること。
 - ・京都府全域を対象とした場合のデータ量について概算を記載すること。
- (4) API連携について

- ・上記(2) データの統合・連携基盤とともに、どのようなデータとAPI連携が可能となるか、人流データやオープンデータ等における類似のデータ活用事例も紹介しながら説明すること。

(5) その他

- ・その他本業務に関連して特記すべき事項があれば記載すること。
- ・プレゼンテーション時にデモンストレーションも可とする。